

内 容	司 会
四国の取組紹介のまとめ	愛媛大学 社会連携推進機構 教授 坂本 世津夫 氏



技術の高度化と通信環境の高速化が進む中、今後のコンテンツ発信は、徳島県の「vs 東京」のような気運を四国全体で高め、今までにない挑戦的な発信を行っていかねばならない。

コンテンツを誰に伝えるのか。ターゲットをどこに絞るのか。海外にどのように伝えていくのか。海外での展開のしくみを考えるとき、コンテンツを制作し発信する上では、海外のことを知らなくてはならない。

今後は会場内の配線なども不要になり、クラウド上でやりとりする時代がやってくる。環境も変わり、技術も変わり、配信する目的も変わり・・・と様々な転換の時期を迎える。

今後、地方創生で人の移動が想定される中、四国の良いところをどうアピールして、人に来てもらえるか。県だけではなく、四国一体となって具体的な策を検討していかなくてはならない。

コンテンツの取組としては、四国情報通信懇談会においても、四国コンテンツ映像フェスタの取組などを行っている。日本国内、そして世界に向けてコンテンツ発信を促進するため、連携して取り組んでいきたい。



<シンポジウム会場の様子>